

2022年1月31日


株式会社 INPEX
広報・IRユニット
(電話 03-5572-0233)

カーボンニュートラルガス販売プロセスに対する第三者認証の取得について

株式会社 INPEX（以下、当社）は、国内で販売するカーボンニュートラルガス（以下「CN ガス」）販売プロセスについて、CN ガスの信頼性をより一層高めることを目的に、国際基準を参照した第三者機関による審査を受け、CN ガスの算定・運用システム手順の妥当性を確認いただき、第三者認証を取得しましたのでお知らせいたします。

本審査は、温室効果ガス（GHG）排出量の検証機関であるソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社が、英国規格協会の定めるカーボンニュートラルを実証するための公開仕様書「カーボンニュートラルリティの実証のための仕様」（PAS2060：2014）を参照しつつ、国際基準に準拠して検証手続きを実施したものです。

<カーボンニュートラルガス算定・運用システム妥当性確認報告書>




**株式会社 INPEX カーボンニュートラルガス算定・運用システム
妥当性確認報告書**

株式会社 INPEX
代表取締役社長 上田 隆之 殿

- 1. 妥当性確認対象**
ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社（以下、「SOCOTEC」という。）は、株式会社 INPEX が定めるカーボンニュートラルガス算定・運用システム手順（以下、「CN ガス 算定・運用手順」という。）に基づきカーボンニュートラルガス（以下、「CN ガス」という。）が適切に算定され且つ運用されるかについて、CN ガス算定・運用システムの妥当性確認を行った。
本件の目的は、CN ガスの算定及び運用システムの妥当性を客観的に評価し、算定される CN ガスの信頼性をより高めることにある。
- 2. 妥当性確認概要**
SOCOTEC は、「CN ガス 算定・運用手順」及び「カーボンニュートラルリティの実証のための仕様」（PAS2060：2014）を参照し、ISO14064-3、ISAE3000 及び ISAE3410 に準拠して妥当性確認手続きを実施した。妥当性確認対象範囲は販売対象ガスの LCI(Life Cycle)CO₂ 排出量、オフセットで使用されるクレジット量並びに販売される CN ガスの算定・運用システムである。LCCO₂ 排出量は、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの段階で排出された CO₂ 排出量のことをいう。保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準は想定される総排出量、オフセットで使用されるクレジット量並びに CN ガス販売量の 5%とした。
妥当性確認手続きでは、株式会社 INPEX 本社において、「CN ガス 算定・運用手順」における CN ガスの LCCO₂ 排出量の算定・バランシング、算定体制を確認し、「CN ガス 算定・運用手順」に従って販売対象ガスの LCCO₂ 排出量、CN ガスのためにオフセットで使用されるクレジット量並びに CN ガス量が適切に算定され且つ運用されるかについて確認した。
- 3. 妥当性確認の結論**
株式会社 INPEX による「CN ガス 算定・運用手順」に基づき、販売対象ガスの LCCO₂ 排出量、CN ガスのためにオフセットで使用されるクレジット量並びに CN ガス量が適切に算定・運用されない事項は発見されなかった。
- 4. 留意事項**
CN ガス算定・運用システムの責任は株式会社 INPEX にあり、本妥当性確認に関する責任は SOCOTEC にある。
株式会社 INPEX と SOCOTEC との間には、特定の利害関係はない。

ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社
執行役員社長 二場誠吾


Seigo Futaba
2021年12月17日



当社は、2021年1月に発表した「今後の事業展開～2050 ネットゼロカーボン社会に向けて～」において、2050年の自社排出ネットゼロカーボンを目指して掲げており、ネットゼロカーボン社会の実現に貢献すべく、エネルギー構造の変革に積極的に取り組んでまいります。天然ガスの卸供給先である都市ガス事業者の皆様や直売需要家様と連携し、天然ガスの安定供給を継続するだけでなく、よりクリーンなエネルギーであるカーボンニュートラルガスなどのソリューションを提供することでお客様のニーズにお応えし、お客様とともに地球規模での温室効果ガス排出削減に寄与する取り組みを推進してまいります。

<カーボンニュートラルガスについて>

カーボンニュートラルガスは、世界各地の森林保全プロジェクト等でのCO₂排出削減効果を信頼性の高い認証機関が認証したカーボンクレジットを活用したもので、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの全ての工程で発生する温室効果ガスがカーボンオフセットされたものとなります。

以上